



弘前市 市民参加型まちづくり1%システム 令和元年度 活用事業
 あおもり県民カレッジ 単位認定講座
 弘前ペンクラブ 共催

太宰治ドラマリーディング

津軽カタリスト 冬の定期公演 2019

◀ 弘前ペンクラブ連携30回記念講演 ▶



太宰治研究の街・弘前で、
 いざ、文学タイムトリップ!

■演目

- (1)『朝』 (2)『待つ』
- (3)『親という二字』 (4)『十二月八日』
- (5)『魚服記』 (6)??? (隠し演目)

—— 上演時間 約80分



令和元年 **12月7日**(土) 午後2時 開演
太宰治まなびの家
 〒036-8185 青森県弘前市御幸町9-35

入場無料

(事前予約不要/全席自由)

※本公演への来場者は、会場向かいの弘前厚生学院駐車場をご利用いただけます。
 ※アクセス JR弘前駅より徒歩20分。弘南バス「弘前大学前」停留所より徒歩10分。

「太宰治まなびの家」とは?

太宰治が昭和2年4月から5年3月まで官立高校（現在の弘前大学）に通うために下宿していた親戚筋・藤田家の旧住宅。2階奥の太宰の部屋には実際に使用していた机や茶筆筒などが置かれ、往時の暮らしぶりを感じることができる。「弘前市指定有形文化財」であり、現在は「弘前ペンクラブ」が指定管理している。

「ドラマリーディング」とは?

ライブで鑑賞できる「朗読劇」のことで、「観るラジオドラマ」と呼ばれることもある。演劇の1ジャンルであり、演者は台本を手に持ち、声の演技を主体として物語が紡がれる。文学作品をそのまま朗読する一般的な「朗読会(リーディング)」とは異なり、脚色や演出効果を加えた戯曲(＝ドラマ)を用いるのが大きな特徴。

「津軽カタリスト」とは?

津軽ゆかりの文学作品をドラマリーディングに仕立てて上演するために結成されたアマチュアの声優劇団。中学生から社会人・主婦・高齢者まで幅広い年齢層の一般県民が在籍し、津軽各地の文化施設、児童館、小中学校、福祉施設などで訪問公演を行っている。



公演の鑑賞で「あおもり県民カレッジ」の1単位が取得できます。

■劇団連絡先 津軽カタリスト 代表 平田 成直 090-3123-3861

来年度も、5月、8月、10月、12月に定期公演を開催できるよう鋭意企画中です!



太宰治 生誕

